

ヒヴァ・ハン国のカーディー文書史料について

堀川 徹

はじめに 写本・古文書を利用する側と提供する側 / 整理と目録

1. ウズベキスタンの写本・古文書所蔵機関

(1) タシュケント

1) 科学アカデミー東洋学研究所

所蔵写本 18,000 冊：閲覧、マイクロ・フィルム (2 ドル・石版本は 1 ドル)

古文書 3,000 点以上：未公開

2) 科学アカデミー写本研究所 東洋学研究所 / 芸術学研究所

3) 文化省芸術学 (ハムザ) 研究所

4) 国立中央古文書館

コシュベギ文書 87,000 点 / ヒヴァ・ハン国文書 20,000 点 / コーカンド・ハン国文書 5,000 点 / ワクフ文書 2,000 点 / ロシア語文書：閲覧、コピー、研究成果発表

(2) 地方都市

1) プハラ建築芸術博物館 古文書 2,000 点

2) サマルカンド大学中央図書館 写本 7,000 冊

3) ヒヴァ博物館 古文書蒐集

4) その他

(3) 中央アジア関係写本・古文書

1) ロシア科学アカデミー東洋学研究所サンクト・ペテルブルク支部

2) タジキスタン共和国科学アカデミー歴史・考古学・民族学研究所 / 東洋学研究所

3) その他

2. ヒヴァのカーディー文書コレクション

(1) コレクションの概要

1) 共同研究の経緯

Aliakbarov 蒐集の古文書 コレクションの購入 東洋学研究所への寄贈

マイクロ・フィルムの撮影と焼付 科研費補助金 古文書の整理とカタログ

原稿の作成 カタログの出版へ

2) 作成地：基本的にヒヴァおよびヒヴァ・ハン国内の他の地区 / 数点タシュケント

3) 作成年代：1136 (1723 / 24) 年 ~ 1346 (1926) 年

4) 使用言語：1850年代まではペルシア語 / それ以降はテュルク語

(2) 文書の内容

1) 私文書

売買契約 (30 %)、 抵当設定 (25 %)、 訴訟権利の放棄 (15 %)、

ワクフ、 負債受領、 土地利用、 灌漑水路開鑿、 遺産・財産分配、 贈与、 離婚訴訟、 代理人・孤児の後見人指名、 土地・財産の賃貸、 孤児の扶養料の算定、 奴隷売買、 書簡、 請願文、 書式 ...

2) 公文書

Muhammad Rahim Khan II (1865-1910)の勅書、 ムフティーの意見書付裁定

(3) 文書の形式

日付、 当事者の名・居所、 内容、 証人の名、 書記 (文書作成者) の名、 カーディーの印

(4) 当該コレクションの利用

社会経済関係 / 地域社会の再構成に / イスラーム法の適用・運用の具体例

3 . 参考文献

M . A . アブドゥライモフ (小松久男訳) 「ブハラのコシュベギ官房文庫研究序説」

(『西南アジア研究』 37 1992)

A . ウルンバーエフ他 『19 世紀 ~ 20 世紀初頭ヒヴァのカーディー文書目録』 京都 1998

(ロシア語・部内資料)

久保一之 「ウズベキスタンにおける中央アジア史研究の現状」 (『西南アジア研究』 39 1993)

久保一之 「タジキスタンにおける東洋学 - - その特色と現状」 (AJAMES 9,1994)

久保一之 「イスラーム期中央アジア古文書学の成果と 16 世紀ブハララーの法廷文書書式集」

(『東洋学報』 78-2 1996)

堀川徹 「ヒヴァ・ハーン国古文書コレクションの『発見』」 (『窓』 84 1993)

(口頭発表)

堀川徹 "未公開のヒヴァ・ハン国文書コレクションについて" (第 33 回野尻湖クリルタイ 1996.7.23)

A . ウルンバーエフ "19 世紀 ~ 20 世紀初頭ヒヴァのカーディー文書をめぐって" (羽田記念館講演会 1997.11.8)

磯貝健一 "16 世紀末ブハラのマドラサの図書館への寄進図書目録 - クル・ババ・クケリ タシュ・マドラサのワクフ文書より - " (中央アジアにおける「民族」の創出に関する総合的研究 1998.6.20)

磯貝健一 "十七世紀初頭の中央アジアにおける死地蘇生文書について" (東洋史研究会大会 1998.11.3)